

令和3年度第2回松本市有価資源物価格協議委員会 会議録

日 時 令和4年3月24日（木）午後4時00分から4時30分

場 所 市東庁舎4階 第三委員会室

参加者（13名） 委員10名

松本市 環境業務課 原課長、花村課長補佐(報告者)、久保田主査

- | | |
|--------|--|
| 1 開会 | (原課長) 定刻となりましたので、これより令和3年度第2回松本市有価資源物価格協議委員会を開催します。本日の司会進行を務めます、環境業務課長の原文彦です。山田委員長よりごあいさつをお願いします。 |
| 2 あいさつ | (山田委員長) 五箇條の御誓文にも、広く人材を集めて会議を開き議論を行い、大切なことはすべて公正な意見によって決めるとある。本会はリサイクル事業を推進する中で、有価資源物の適正な売払価格を公の場で決めるためのもので、半年に1回開催する。本日も速やかな進行となるようご協力いただきたい。 |
| 3 議長選出 | (原課長) 議長は、価格協議委員会設置要綱第5条の規程により、委員会の進行を山田委員長をお願いします。 |
| 4 議事 | (山田委員長) 議題(1)資源物の価格改定について、事務局から説明をお願いします。 (花村課長補佐) 資料「資源物の改定価格案について」の説明 ●現在の市場状況。 ●3月11日に資源リサイクル業務研究会を開催し、基準となる相場価格を基に、売却額から経費を除いた額に相当するよう、調整額を用いて算出した価格案であること。 (山田委員長) 改定価格案について、荷受業者から意見を伺います。 (花村産業・鈴木委員) アルミ・鉄ともに市場価格が上昇している。最近は、コロナ禍、脱炭素、更 |

には、ウクライナの状況。特にロシアはニッケル、白金、アルミ等主要な金属産出国で大きな影響があるだろう。

価格は、フォーミュラ（公式）どおりの改正案であり、妥当と考える。

（しんえこ・小松委員）

花村産業と同様。価格は適正と考える。

（百瀬商店・百瀬委員）

金属の高価格がとてもうらやましい。紙価格は低値安定だが、今後少しずつだが好転するのではないかとの兆しは見える。価格はこれでよい。

布は徐々に動いているが厳しいことに変わりはなく、価格は0円継続でお願いしたい。

（ヤマカ資源回収・神農委員）

百瀬商店と同様、相場的に安定していると思う。布は、鈍いが動いている。価格に関しては適正と考える。

（日光紙業・高木委員）

紙は2社と同様。布は、相変わらず厳しい。本社の方針を見据え新たな販路を探している。価格は適正と考える。

（山田商店・山田委員）

生きびん相場は今のところ変わらないので、この価格でお願いしたい。

（山田委員長）

荷受業者の意見としては、改定価格案に反対がないので、提案のとおり決定したいと考えるがいかがか。

（梶山副委員長）

今回の価格改定については承知したが、周辺自治体の売払価格の状況調査をお願いしたので、説明願いたい。

（花村課長補佐）

隣接の2自治体に、アルミ、鉄、新聞、雑誌、段ボール、古布、生きびんの価格を聞いた。

●塩尻市：172、4、3、3、3、0、0円

●安曇野市：99、17、4.5、2.7、1.5、0、0円

塩尻市のアルミが172円と高値の理由は、詳細は教えてもらえなかったが、本市と同じように基準を定めているとのこと。

(花村産業) 梶山委員に意見を求められて

価格差は取引先とか自治体の取組によって異なる部分があると思われるので、当社ではわからない。

(梶山副委員長)

塩尻市ではSDGs関連で啓発目的を重視して価格を高く設定しているとの情報を私のところに入れてくれた人がある。行政ならば、そこまで詳細に調査してもらいたいと思う。

(原課長)

隣市との価格差が異なる理由や事情については、改めて調査のうえ報告したい。

(山田委員長)

それでは、本日の価格協議による改定価格を確認しておきたい。

アルミを30円引き上げて139円、

鉄を7.5円引き上げて26.6円、

段ボールを0.5円引き上げて4円、

その他のものは据置きで、

新聞は4円、雑誌は0.5円、古布は0円

一升びん、ビールびん中・小は4円、

ビールびん大、ジュースびんは5円、

よろしいでしょうか。

・全委員承認

(山田委員長)

なお、適用の期日は、3月1日からの回収、4月1日以降の調定からでお願いしたい。

・全委員承認

(山田委員長)

その他事務局からありますか。

(花村課長補佐)

昨年9月に開催した令和3年度第1回有価資源物価格協議委員会で、山田委員長から相場に20%以上の変動があった場合、臨時的に価格を協議することとなっていなかったかというご指摘があった件で、過去の資料等を調べ整理したのでご報告します。

平成28年度までは開催が不定期で、会議と会議の間が1年以上空いてしまうことがあり、相場価格が変動しても売払い価格に即反映できない状況が生じていました。

そこで、平成29年度から、年2回9月と3月に研究会・協議委員会をそれぞれ開催し、半年に1回直近の相場価格を売払い価格に反映させていくことにしました。

今後もこれまでどおり年2回の9月と3月に定期的を開催しますので、よろしくをお願いします。

(山田委員長)

その他に発言がなければ、本会の決定事項を臥雲市長に報告します。

今回を持ち、退任することとなったので、最後に、ご挨拶申し上げます。この職には7年間あり、年2回なので14回参加してきた。リサイクルを進めるために大事な会だと思うので、今後もよろしくお願ひしたい。お世話になりました。

5 閉会

(原課長)

以上で、有価資源物価格協議委員会を閉じます。

(以上)